

2022年



10月



発行 原水爆禁止愛知県協議会

発行人 佐竹康行

〒461-0004

名古屋市東区葵1-22-26

Tel(052)932-3219

Fax(052)931-2651

gensuikyo@lime.ocn.ne.jp

毎月1回 6日発行

月40円/年間480円

ロシア・プーチン大統領の発言に強く抗議

愛知県原水協は9月22日、プーチン大統領の核脅迫発言に対し以下の抗議文を在日ロシア大使館にメールで送付しました。

「プーチン大統領のたび重なる核脅迫発言に断固抗議する」

ロシア連邦大統領 ウラジーミル・プーチン殿

貴職は、9月21日、ロシア国民向けのテレビ演説で、NATO加盟国に対して「ロシア領土の保全が脅威にさらされれば、われわれは、手持ちの全ての兵器を使う」「はったりではない」と述べ、再び核脅迫をおこないました。

断固抗議します。

核兵器の使用がもたらすものは、広島と長崎への原爆投下が示しています。当時の惨状と被爆者の実態がご存じなのでしょうか。一発の原爆により、広島は14万人、長崎は7万人の市民が犠牲となりました。大量破壊と非人道的な破滅的結末しかありません。核兵器は、人間として死ぬことも、人間らしく生きることも許さない、「絶滅」だけを目的とした「絶対悪」の兵器であり、その保有も使用も許されません。

貴職の発言は、平和と人類の生存に対する重大な挑戦です。

そして、国連憲章とそれに基づく平和のルール、核兵器廃絶にかかる国際合意を踏みにじるものではありません。

主権国家に対する侵略と領土拡張は国連憲章が禁ずる明白な違反行為にはなりません。ウクライナへの侵略を停止し、ロシア軍は即時撤退すべきです。

原水爆禁止愛知県協議会として強く抗議し、国連憲章の順守と紛争の平和解決、核兵器の全面的廃絶のために誠実に行動するよう強く要求します。

抗議先は以下の通りです。

在日ロシア連邦大使館 〒106-0041 東京都港区麻布台2-1-1
電話:03-3583-4224 FAX:03-3505-0593 E-mail:tokyo@mid.ru



愛知のうたごえ協議会
常任理事らが次々と、核
兵器禁止条約締約国会議
やNPT再検討会議に触
れながら、唯一の被爆國
にふさわしい日本政府に
変えていこうと訴えまし
た。
からは舟橋議長が訴え、
愛知のうたごえ協議会

日本政府に核兵器禁止条約への
参加を求める愛知県民の会

国連軍縮週間 (10月24日~30日) 署名・宣伝行動

日時 : 10月29日 (土)
13:00~14:00
場所 : 名古屋・栄 噴水前

※10月24日は国連創立記念日
※各地域でも国連総会やNPT再
検討会議の諸討議をふまえつつ、
軍縮週間中の署名・宣伝行動に
取り組みましょう

9月19日、日本原水協
常任理事会の中で今秋の
行動について「人類が直
面している新たな核使用
の危機を乗り越え、「核
兵器のない世界」へと前
進するため、諸国政府
と市民社会の共同を大き
く発展させることが強く
求められている。その力
を握っているのが被爆
国日本でのたたかいにあ
る。核兵器廃絶の展望と
今後の運動方向を明らか
にした『広島宣言』と
『長崎からのよびかけ』
の学習を中心に据え、確

信をつかい、行動に踏
み出そう」と提起されま
した。
県原水協も9月26日の
核兵器廃絶デー、10月24
日から30日の国連軍縮週
間に合わせ、活動を計画
しました。また、多くの
地域・団体も世界大会報
告会を開催し、参加者の
報告と共に禁止条約締約
国会議、世界大会、NPT
再検討会議を踏まえた
核兵器をめぐる世界情勢
を学ぶ学習会が行われて
います。
核兵器禁止条約は新た



に5か国が署名し、署名
なり、核なき世界へと確
実に進んでいます。条約
相を知らせるパネル展、
自治体意見書提出に向け
た要請など行動を計画し、
草の根から核兵器廃絶の
世論をさらに広げていき
ましょう。

9月26日は国連の定め
た「核兵器の全面的廃絶
のための国際デー」です。
愛知県原水協も正午から
1時間、栄スカイル前で、
署名・宣伝行動を行いま
した。

行動では「日本政府に
核兵器禁止条約への署名・
批准を求める」署名への
呼びかけとビラを配布し
ました。大村代表理事が
行動の趣旨を含めて訴え
た後、愛方連の西尾議長、
日本ベトナム友好協会、愛
知県連の早川事務局長、
愛知県平和委員会の谷口
知事らが次々と、核

憲法違反である安倍元
首相の「国葬」をはじめ
岸田政権医抗議し、政治
転換をもとめる「さよう
なら戦争・さようなら原

安倍元首相葬反対・
改憲発議と大躍進をやめ・
さようなら強行7年原発
「戦争法」を忘れない
福島原発事故を9.19大集会

日本も条約参加を!
核で署名・宣伝

シマのある国で」など平
和のうたごえを響かせま
した。最後は佐竹事務局
長が訴えて終了しました。
行動には、自治労連や
国公共闘からも参加があ
り、計16名が参加しまし
た。署名は、ウクライナ
から来ている方を含め11
筆が寄せられました。

4人で「折り鶴」「ヒロ
シマの原爆被爆地」などを
響下時折強い雨が降る中
で、1万3千人が参加。
主催者あいさつは、総
がかり行動実行委員会の
小田川義和さん、立憲民
主党の阿部知子衆議院議
員、日本共産党の志位和
夫委員長、社会民主党の
福島瑞穂党首が連帯のあ
いさつ。落合恵子（作家）
さんら市民からの発言が
続きました。

「憲法無視の政治では
なく、憲法を生かした政
治へ展開しよう」とアピ
ール。集会後には、デモ行
進が2つコースに分かれ
て行われました。





→平和行進名東・千種
実行委員会の皆さん

N P T 再検討会議・ 締約国会議・ N P T 再検討会議 の学習会・緑区

9月21日、緑区原水協
では、「原水爆禁止世界
大会の成功と締約国会議・
N P T 再検討会議に学ぶ」

の方から報告をしていた
だきました。一人は就学
前のお子さんとともに参
加されました。

世界大会初参加の2人
の方から報告をしていた
だきました。一人は就学
前のお子さんとともに参
加されました。

本山の生協会館において、
平和行進名東・千種コー
スの世界大会報告会を行
いました。40名ほどの方
に参加していただきまし
た。

世界大会後、多くの地
域で報告会が取り組まれ、
現地で参加した人の報告
と合わせて、核兵器をめ
ぐる情勢の学習が行われ
ました。

去る8月28日、千種区
本山の生協会館において、
平和行進名東・千種コー
スの世界大会報告会を行
いました。40名ほどの方
に参加していただきまし
た。

佐竹県原水協事務局長
からもこの間の核廃絶・
世界大会の流れについて
報告がありました。

曲折をへて発展してき
た運動の到達点を確認す
るとともに、若い世代へ
じさせる報告会となりま
した。(名東千種・酒井)

世界大会後、多くの地
域で報告会が取り組まれ、
現地で参加した人の報告
と合わせて、核兵器をめ
ぐる情勢の学習が行われ
ました。

世界大会後、多くの地
域で報告会が取り組まれ、
現地で参加した人の報告
と合わせて、核兵器をめ
ぐる情勢の学習が行われ
ました。

世界大会後、多くの地
域で報告会が取り組まれ、
現地で参加した人の報告
と合わせて、核兵器をめ
ぐる情勢の学習が行われ
ました。

加された女性で、レジュ
メまで用意していただき
ての報告でした。初参加
の感想とともに、「若い
世代や同世代の人たちの
きつかけづくりに力を注
ぎたい」との決意が表明
された報告でした。

もう一人は20代の女性
の一員として参加した方
でした。若者同士の感想
交流で、世界大会を契機
にそれぞれの認識が深まっ
たことをお互いに確認で
きたこと、この機会がな
ければ明らかにならなかっ
たであろう核廃絶への一
人一人の思いが交流され
ました。

参考文書には、「ロシアが反対するのは
分かっていたので、他の
4つの核兵器国は最終合
意文書に反対しなかつた
のではないか」という質
問が出され、大村氏は、
「N P T 再検討会議の大
局は、多数の国が核兵器
の非人道性や核禁条約に
言及して会議の流れをつ
くり、核保有国は防戦に
追い込まれた」という事だ
と答えました。

参考文書には、「ロシアが反対するのは
分かっていたので、他の
4つの核兵器国は最終合
意文書に反対しなかつた
のではないか」という質
問が出され、大村氏は、
「N P T 再検討会議の大
局は、多数の国が核兵器
の非人道性や核禁条約に
言及して会議の流れをつ
くり、核保有国は防戦に
追い込まれた」という事だ
と答えました。

世界大会の成果を学ぶ 各地で報告・学習会

原水協代表理事。
大村氏は講演の中で、
「メディアはN P T 再検
討会議が、『再び決裂』
と報道したが本当か」と
問い合わせ、日本原水協が世界
大会の成功を力にイニシ
アティブを發揮してN P
Tの会議に働きかけた事
を紹介しました。その上
で、N P T 第6条のもと
で「核兵器の完全廃絶を
実現する核兵器国明確
な約束の再確認」を明記
するなどの最終合意文書
の成果をつくりあげた多
数派の非核兵器国奮闘
を紹介しつつ、全会一致
制のため、ロシアが唯一
反対したので合意文書の
発表に至らなかつたと話
しました。

9月17日、愛友会主催
の「原爆犠牲者を偲ぶつ
どい」が名古屋市公会堂
4階ホールにて行われ、
被爆者、遺族、支援者な
ど100名が参加しました。
はじめのあいさつで、
愛友会の伊藤副理事長は
「核戦争を起こさせない
よう、頑張っていく」と
力強く語られ、金本理事
長は「核兵器禁止条約や
被爆者援護法は、亡くな
ったもの、遺族には誇りを
もってほしい。そして私
たちがその遺産を受け継
いでいく」と被爆者が運
動の中で築き上げてきた、
被爆者援護、核兵器廃絶
への思いを語られました。
続いて、愛知県知事、
名古屋市長からのあいさ
つを各役所の職員が代読
しました。支援団体の愛
知県平和委員会、労連、
愛知県平和委員会、日本
ベトナム協会、愛知県原
水協が紹介されました。
小島愛知県平和委員会理

事長は「ロシア、台湾情
勢にかこつけた軍拡に反
対し、愛友会と共に運動
の先頭に立つ」と話され
ました。



平和の誓いでは、市邨
高校の3年生から「一人
一人の命の大切さを考え
ることが平和につながる。
戦争を知らない世代の私
たちは戦争や平和について、
自発的に考え、学んで
いくことが大切」と被
爆者の体験や思いを受け
継いでいく決意が語られ
ました。



『原爆、忘れまい』復刻版・完成！



され、第七集まで発行されました。その後、
ているのは2セットのみとなってしまいました。そこで次世
代へ被爆体験を残し、継承していくため復刻プロジェクトを
立ち上げ、第一集から第七集までの再編集と、新たな証言や
次の世代への継承などをまとめ、第八集も作成し、今年8月
に発刊しました。

被爆体験、被爆者の核兵器廃絶の強い思いを知り、受け継
いでいくためにとても貴重な手記集です。

●全8集(紙製ケース付) 5,000円

※問い合わせは、復刻プロジェクトHPまたは愛友会まで

2023年版 いわさきちひろカレンダー



平和へのねがいをたくして

すべての子どもたちの未来に戦
争も核兵器もない平和で公正な世
界をの願いを広げるために運動を
支え広げるようご協力ください。
また、お寄せいただいた募金でカ
レンダーを被災地へ届けます。

- 環境にやさしい紙で綴じる
ホットメルトを採用
- 大豆を原料とした植物性インク
を使用
- A2判・絵7枚
- 額価1,540円(税込)
- ※25本以上送料無料

最後に、主催者からの
お礼として丹羽副理事長
があいさつされ、「私たち
のような思いは誰にもし
てほしくない。原爆は絶
対に無くしたい」と涙な
ぎながら訴えられました。

